

2025年度 第1回 日本法獣医学会 総会資料

日時 2026年3月21日 12:00-13:00

場所 日本獣医生命科学大学 および Zoom

内容

1. 幹事会員の逝去.....	1
2. 2025年度の活動.....	1
1) 会員数(2026年3月現在).....	1
2) 2025年度のその他の主な活動.....	2
3. 2025年度収入・支出(2026年3月現在).....	2
4. 2026年度の活動予定.....	3
5. 会費徴収の検討、法人化の検討.....	5
1) 会費の徴収について.....	5
2) 法人化について.....	6
6. 幹事の推薦.....	8
1) 継続.....	8
2) 新規.....	9
7. 専門医、認定制度.....	9

1. 幹事会員の逝去

田口 本光 先生環境省(前職)

(2025年10月、逝去されました　ご冥福を心よりお祈り申し上げます)

2. 2025年度の活動

1) 会員数(2026年2月7日現在)

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
正会員	126名	160名	198名	218名
学生会員	13名	19名	42名	55名
	139名	179名	240名	273名

2) 2025 年度のその他の主な活動

- 会議
- 幹事会 11 回 (WEB サイトにて議題を公開)
- 総会 1 回
- 学術集会 1 回(2026 年 3 月 21 日)

- シンポジウムの開催
 - 1) 法獣医学を解く
 - 日時 2025 年 9 月 5 日 9:00-12:00
 - 場所 宮崎シーガイア (日本獣医学会内第 3 会場)
 - 2) 動物の安楽死を考える II
 - 日時 2025 年 12 月 6 日 15:00-17:00
 - 場所 Zoom ウェビナー (無料)
 - 共催 日本学術会議

• 研修会の開催

2025 年 6 月 7 日、14 日、 21 日、28 日	オンライン	学会主催
2025 年 8 月 18-22 日	オンライン+北海道大学 18-19 日 (座学) 21-22 日 (実習)	学会後援
2026 年 2 月 19-20 日	日本獣医生命科学大学	環境省主催

• 学術集会の開催

- 2026 年 3 月 21 日
- 日本獣医生命科学大学 E111 および Zoom
- 有料
 - ◇ 会員 3000 円
 - ◇ 非会員 6000 円

• WEB サイトのページの管理運営

3. 2025 年度収入・支出 (2026 年 3 月 16 日現在)

(収入)

項目	金額	
前年度繰り越し	224,049	
利子	545	ゆうちょ銀行
前年度学術集会（2025.4 入金分）	155,203	2024 年度学術集会、3 月分入金
2025 年度学術集会（2026.3 入金分）	77,399	現在、会員 31 名×3000 円、非会員 3 名×6000 円、1 人入金待ち
出版関係	476,175	学窓社 5/30 424745 円、11/29 51430 円
計	933,371	

(支出)

項目	金額	
第 5 回学術集會会場費	70,400	日本獣医生命科学大学
振込手数料	440	
講演者旅費	96,280	シンポジウム講演者
繰り越し	766,251	
計	933,371	

4. 2026 年度の活動予定

- 幹事会の開催
2026 年 土曜日、13:00
 - 4 月 4 日
 - 5 月 9 日
 - 6 月 6 日
 - 7 月 11 日
 - 8 月 8 日
 - 10 月 17 日
 - 11 月 14 日
 - 12 月 5 日
- 2026 年 土曜日、13:00
 - 1 月 9 日
 - 2 月 6 日
 - 3 月 6 日
- 研修会の開催

年 3 回の開催を検討

	対象	時期	費用	内容
環境省（共催）	自治体	1-2月	無料	<ul style="list-style-type: none"> 講義（オンライン）、事例検討会（対面） 自治体の意見を取り入れて、事例検討会は実用的な内容に
日本法獣医学会（主催）	自治体、動物病院 獣医師・動物看護師、法曹関係者	6月、 日曜午後	無料、 2026年 度から有料 化を検討	<ul style="list-style-type: none"> 講義（オンライン）、事例検討会（オンライン） オンデマンドでも配信
北海道大学（後援）	制限を設けない、獣 医師以外も可	8月— 9月	有料	<ul style="list-style-type: none"> 講義（オンライン）、実習（対面） 内容について、基礎だけではなく、応用系も重視 実習は中毒にフォーカス

日本法獣医学会主催研修会 2026（予定）

日程	時間	内容	担当
2026年6月07日 （日） 13:00~15:20	40分	法獣医学概論	田中先生
	5分	質疑応答	
	40分	動物虐待調査	田中先生
	5分	質疑応答	
	5分	休憩	
	40分	犬猫以外の動物福祉	田中先生
	5分	質疑応答	
2025年6月14日 （日） 13:00~15:15	30分	NAI(非偶発的損傷)	木原先生
	30分	ネグレクト	木原先生
	5分	質疑応答	
	5分	休憩	
	30分	多頭飼育崩壊	木原先生
	30分	窒息 / 溺死	木原先生
	5分	質疑応答	
2025年6月21日 （日） 13:00~15:15	30分	中毒	石塚
	30分	法病理学	内田先生
	5分	質疑応答	
	5分	休憩	

	30分	法昆虫学	川本先生
	30分	法微生物学	川本先生
	5分	質疑応答	
2025年6月28日 (日) 13:00~14:50	45分	動物虐待に関する法律	三上先生
	5分	休憩	
	15分	事例紹介1：多頭飼育崩壊	田中先生
	15分	事例紹介2：NAI	木原先生
	15分	事例紹介3：中毒	石塚
	15分	質疑応答	

開催形式 Zoom ウェビナー（オンデマンド）

参加費 2000円

ハンドアウト 配布（PDF）

- シンポジウムの開催
 - シンポジウム開催については検討中
- 学術集会の開催
 - 2026年3月20日（土）（仮）

5. 会費徴収の検討、法人化の検討

1) 会費の徴収について

これまで日本法獣医学会では、法獣医学の普及を最優先とする観点から、会費を無料として活動を行ってきた。しかしながら、学会運営にあたっては、事務局の年間運営経費、WEBサイトの維持管理費（ドメイン取得・各種ライセンス経費等）、シンポジウム開催に伴う会場借り上げ費や講師招聘費、資料印刷費、オンラインシステムのライセンス経費など、継続的な必要経費が発生している。

このような運営実態を踏まえ、学術集会については2024年度より、参加費の徴収について検討してきた。さらに、会員を対象としたアンケート調査を実施し、会費徴収に関する意見を聴取したところ、その結果はすでに会員に公表しており、全体として会費徴収に対する賛同が多数を占め（86.7%）、理解が得られている状況である。

以上を踏まえ、学会活動を安定的かつ継続的に運営していくため、2026年度より会費徴収を開始することを提案したい。

【提案】 正会員 5000円

学生会員 2000円

【根拠】 以下の収入および支出の試算による

収入

項目	金額	備考
学術集会収入	300,000	2024 年度実績(80 名参加)
会費収入	500,000	5000 円×100 人
研修会収入	100,000	2000 円×50 人
計	900,000	

支出

項目	金額	備考
会費支払いシステム手数料	60,000	3 万円×2 回（現状のシステムを学術集会、研修会と 2 回利用する場合）
講演者招聘費	80,000	旅費 7 万円、謝金 1 万円
施設使用料	50,000	学術集会分
学会運営代行	400,000	会計士もしくは税理士への委託費を含む
WEB サイト運営、会員管理システム	50,000	ドメイン経費など。会員管理システムについては、経費は現時点では導入費、使用料はかからない予定。
繰り越し	260,000	
計	900,000	

2) 法人化について

①提案の趣旨

日本法獣医学会は、これまで任意団体として、法獣医学分野における学術研究・教育・社会貢献活動を着実に展開してきた。一方で、任意団体という組織形態には、法的主体性を欠くことに起因する構造的な制約が存在する。

具体的には、学会名義での契約行為が困難であること、資産や会計の帰属が個人に依存せざるを得ないこと、役員交代時における権限・責任の承継が不明確になりやすいことなどが挙げられる。また、外部機関との共催・後援、業務委託、資金管理等において、対外的な説明責任や社会的信用の面で課題が顕在化しつつある。

現状	法人化後
○ 学会に法人格がなく、契約や口座管理を個人名義（会長）に依存	• 学会が独立した法的主体となり、契約・資産管理が安定

<ul style="list-style-type: none"> ○ 会計・責任の所在が分かりにくく、役員の負担とリスクが大きい ○ 行政・大学・助成金等との連携において対外的信用力に限界 ○ 組織運営の継続性・制度化が難しい 	<ul style="list-style-type: none"> ● 役員個人の法的・財務的リスクを軽減 ● 会計・ガバナンスの透明性と説明責任が向上 ● 行政・学術団体・企業との連携や資金獲得が容易に ● 事務の外部委託が可能となり、運営の効率化・持続性が向上
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

近年、本学会の活動は学術領域にとどまらず、社会的要請への対応や対外的連携の機会が増加しており、これらの課題を任意団体の枠組みのまま解決することは、将来的な学会運営の安定性・継続性の観点から困難になりつつある。

このため、本学会は、現行の学会理念および活動内容を維持したまま、法的基盤を有する「一般社団法人」へ移行することを提案するものである。

②法人化の目的と期待される効果

一般社団法人化により、次のような効果が期待される。

- 学会の社会的信用および対外的な説明責任の向上
- 契約行為（共催・後援・業務委託等）の明確化と円滑化
- 会計・資産管理の透明性および継続性の確保
- 役員交代時における組織運営の安定化
- 事務局業務の外部委託等、将来を見据えた運営体制の構築

なお、一般社団法人は営利を目的とする法人ではなく、本学会の非営利性および学術団体としての性格は従来どおり維持される。

③法人の概要（案）

- 法人名：一般社団法人 日本法獣医学会
- 法人格：一般社団法人（非営利型）
- 会員構成：
 - 正会員（法人法上の社員）
 - 学生会員
 - 賛助会員
- 役員構成：
 - 理事：10名以上
 - 評議員：30名以上
 - 監事：1名以上
- 代表理事（会長）：
 - 理事会において互選により選定
 - 会員選挙の結果を尊重する運用とする

- 事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで

④ 会員の権利・義務について

法人化後も、正会員・学生会員・賛助会員の区分および学会活動への参加形態は、原則として現行制度を踏襲する。

特に正会員は、一般社団法人における「社員」となり、社員総会（総会）を通じて、役員選任、定款変更等の重要事項について引き続き議決権を行使することができる。

⑤ 選挙制度の概要

- 理事は、正会員による選挙により選出する。
- 投票方法として、書面投票および電子投票システムの利用を可能とする。
- 選挙の公正性および秘密性は、選挙管理委員会が担保する。

⑥ 今後の予定（案）

1. 本総会における法人化の承認 2. 定款の確定 3. 設立手続（定款認証・設立登記） 4. 法人設立後、任意団体から法人への事業・資産の移行 5. 任意団体としての学会の解散

- ① 法人化の意思決定（学会内）
- ② 設立設計（法人の形・定款骨子の確定）
- ③ 設立準備（定款作成・役員内定・事務委託検討）
- ④ 設立手続（公証・登記）
- ⑤ 任意団体からの事業・資産移行
- ⑥ 設立後の初期運営整備

⑦ 結び

本提案は、日本法獣医学会の学術的独立性および民主的運営を維持しつつ、将来にわたり安定した学会活動を継続するための基盤整備を目的とするものである。

会員各位におかれては、本提案の趣旨をご理解いただき、法人化についてご審議・ご承認を賜りたい。

6. 幹事の推薦

1) 継続（2026年2月末時点）

- 田中 亜紀 日本獣医生命科学大学
- 佐伯 潤 帝京科学大学
- 石塚 真由美 北海道大学獣医学研究院
- 町屋 奈 日本動物福祉協会
- 鈴木 良 東京都 保健医療局 動物愛護相談センター多摩支所
- 梅谷 綾子 千葉県職員(旧所属千葉県動物愛護センター東葛飾支所)

- 三上 正隆 愛知学院大学法学部
- 高橋 真吾 東京都 保健医療局 健康安全部
- 松本 周 東京都 保健医療局 多摩小平保健所
- 内田 和幸 東京大学大学院農学生命科学研究科獣医学専攻
- 木村 享史 北海道大学獣医学研究院
- 川本 恵子 麻布大学

2) 新規

- チェンバーズ ジェームズ先生 (東京大学)
- 木原友子先生 (日本獣医生命科学大学)
- 中村進一先生 (岡山理科大学)

7. 専門医、認定制度

- 学会により認定制度の確立に向けて幹事会での議論を継続する。

学術集会

1) スケジュール

12:00-13:00 総会

13:00-13:45 基調講演

14:00-17:00 研究発表

① 14:00-14:15 発表

② 14:15-14:30 発表

③ 14:30-14:45 発表

④ 14:45-15:00 発表

⑤ 15:00-15:15 発表

15:15-15:30 休憩

⑥ 15:30-15:45 発表

⑦ 15:45-16:00 発表

⑧ 16:00-16:15 発表

⑨ 16:15-16:30 発表

⑩ 16:30-16:45 発表

⑪ 16:45-17:00 発表

17:00 閉会

2) 参加費徴収

- (ア) 会員 3000 円
- (イ) 学生会員 3000 円
- (ウ) 非会員 6000 円

非会員も参加可能とするが、医学・獣医学系、法曹系等に限定する